

会報順番番号VI-12

建設部門

所属 (公社)日本技術士会 中部本部三重県支部
米澤技術士・労働安全コンサルタント事務所 所長
米澤 雅之

2年前の船旅で広島・長崎をそれぞれ訪問した時

はじめに

私は2015年7月から(公社)日本技術士会 中部本部にお世話になり岐阜県支部のイベントにも参加させて頂いております。このタイミングは宮城県塩竈市の東北ドック鉄工(株)を辞し(株)IHI 愛知工場にお世話になった時期からでした。(株)IHI 愛知工場は1973年開設しましたが、2019年11月末をもって45年間の歴史に幕を引いて閉鎖になりま



したが、私自身は当時 JMU 津事業所殿で建造していた東京ガス(株)殿向け SPP-LNG 船4隻のアルミ製 SPB-LNG TANK を16個(株)IHI 愛知工場で建造し、JMU 津事業所殿に引渡し完了するまで JMU 津事業所の構内で(株)IHI の責任者として2019年7月末まで三重県鈴鹿市内の実家から通勤し業務を行っていました。



私は1975年に日本鋼管(株)に入社し44年間のサラリーマン時代を終了するタイミングで船旅をしようと思い2019.8.4~8.23の20日間の航程を選んだのですが、私の契約期間が2019年7月末まで伸びた時は予定通り船旅に行けるか冷や冷やしたものでした。

振り返れば、サラリーマン時代に休みを取って旅行に行ったのは1993年40歳になった時会社が設けたリフレッシュ制度で2週間の休みが取れた時子供たちの夏休みに1週間でオーストラリアに旅行に行ったのが最初でした。2007年に55歳の時に所謂停年旅行の意味合いで旅行券をもらい旅行に行くチャンスをもらいました。本来停年退職は60歳でしたが、51歳で子会社に出向していた私は55歳で協議退職という名のもとに本体を退職し子会社のプロパーとなって既に業務に就いていたために長期間の休暇が取れずに旅行券を利用して家族で横浜湾内クルーズに参加したり、ホテルで会食したり近距離へ旅行

〔 日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先 〕

〒509-0109 各務原市テクノプラザ1-1 本館 5F
TEL: 058-379-0580 FAX: 058-385-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp

に行ったりしました。

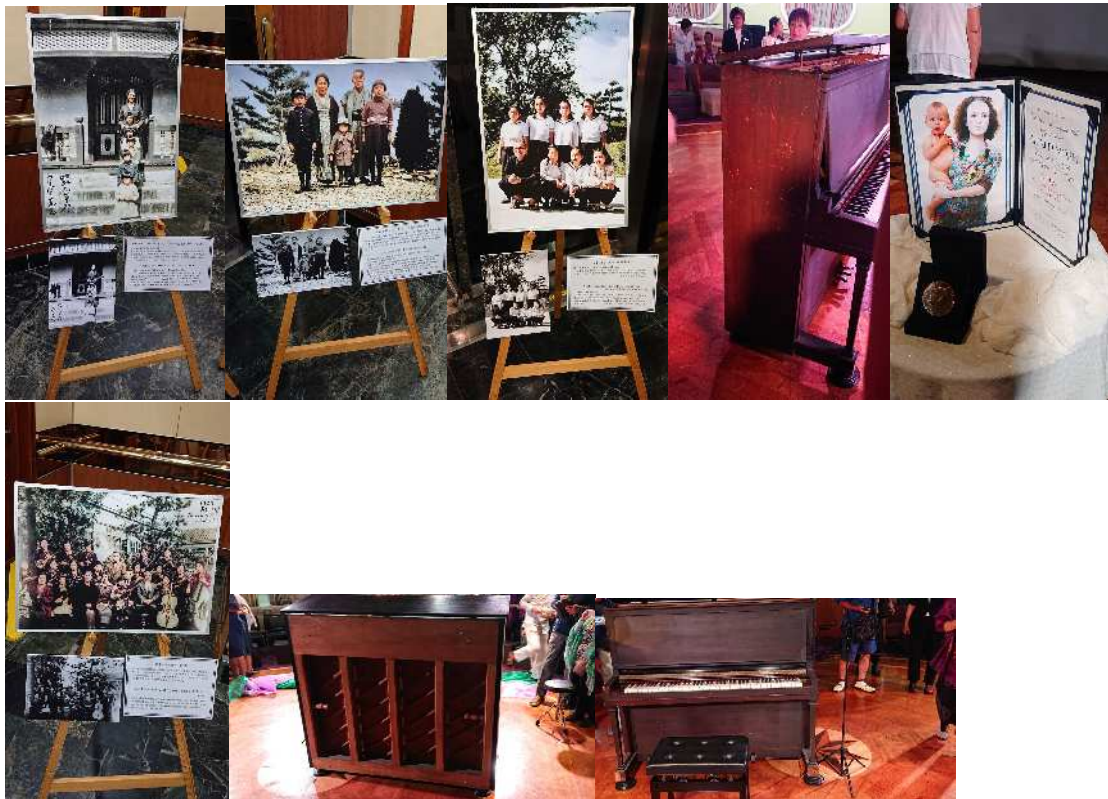
そこで、サラリーマン生活を終えるに当たり私にとっては長期間の 20 日間の日本周辺のクルーズに参加することを計画しました。

その中で8月6日の広島平和記念日、広島原爆忌の日に広島を訪問し8月9日の長崎原爆忌、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が開催された場所を訪問しました。その時の様子を報告します。

1. 広島にて

まず8月4日に大阪港を出港し、8月5日夕方広島港着岸予定が台風のため遅延し6日の 16:00 着岸となってしまいました。広島港への入港とともに故河本明子さん（享年 19 歳）が愛奏していた被爆し補修されたピアノが、積み込まれ、併せて流浪してやがて修復されたパルチコフさんのヴァイオリンも一緒に積み込まれ、萩原麻未さんと成田達輝さんの船上コンサートで披露されました。

明子さんのピアノ；



[日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先]

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 本館 5F
TEL : 058-379-0580 FAX : 058-385-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp



パルチコフさんのヴァイオリン；



萩原麻未さんと成田達輝さんの船上コンサート風景；

被爆 74 周年平和記念式典の様子は入港が遅れたため残念ながら広島港外で TV で見ました。8 時 15 分には船室で黙とうを捧げました。

被爆 74 周年平和記念式典～核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います～被爆 74 年目の 8 月 6 日（火）、広島市の平和記念公園で、市主催の平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）が行われ、被爆者や遺族など約 5 万人が参列して犠牲者の冥福と世界恒久平和を祈りました。



式典は午前 8 時に始まり、最初に松井一寛広島市長と遺族代表 2 人が、この 1 年間に亡くなられたことが確認された 5,068 人の氏名が記帳された 2 冊の原爆死没者名簿を、原爆死没者慰霊碑の中の奉安箱に奉納しました。これで名簿登録者総数は 319,186 人、名簿総数は 117 冊となりました。



続いて山田春男広島市議会議員の式辞、各代表による献花の後、原爆が投下された 8 時 15 分に、遺族代表の面出明子さんと、こども代表の正



門和虎さんが平和の鐘をつき、参列者全員が1分間の黙禱を捧げました。

この後、松井市長が平和宣言を行いました。市長は、昨今の世界情勢により核兵器廃絶への動きも停滞するなか、今一度、人類の存続に向け、決して戦争を起こさない理想の世界を目指す必要があることを、特に、次代を担う戦争を知らない若い人に訴えたいとして、被爆者の方々の1945年8月6日の体験や訴えを紹介しました。そして、未来を担う若い人たちが、原爆や戦争を単なる過去の出来事と捉えず、また、被爆者や平和な世界を目指す人たちの声や努力を自らのものとして、たゆむことなく前進していくことが重要だと訴えました。

また、世界中の為政者に、被爆地を訪れ、被爆者の声を聴き、平和記念資料館、追悼平和祈念館で犠牲者や遺族一人一人の人生に向き合うことや、核不拡散条約(NPT)第6条に定められている核軍縮の誠実交渉義務を果たすとともに、核兵器のない世界への一里塚となる核兵器禁止条約の発効を求める市民社会の思いに応えるよう求めました。

さらに日本政府には、唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への署名・批准を求める被爆者の思いをしっかりと受け止め、核兵器のない世界の実現に更に一步踏み込んでリーダーシップを発揮することや、平均年齢が82歳を超えた被爆者を始め、心身に悪影響を及ぼす放射線により生活面で様々な苦しみを抱える多くの人々の苦悩に寄り添い、その支援策を充実するとともに、「黒い雨降雨地域」を拡大するよう強く求めました。⇒本件は74年前の気象観測も確実でないのに原爆症で苦しんでいる方がいらっしゃるのにその地域では黒い雨は降らないとし、原爆症の認定を拒んでいたのが菅内閣の下でこれを認め今年やっと解決を見ました。



平和宣言の後、こども代表の金田秋佳さんと石橋忠大君が、自分たちの大切なものがあふれている大好きな広島町の「悲惨な過去」を学び、二度と戦争をおこさない未来にするため、「互いに思いを伝え合い、相手の立場に

日本技術士会 岐阜支部 会報

2021. 10. 26

立って考えます。意志をもって学び続けます。被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。」と「平和への誓い」を読み上げました。



この後「あいさつ」の中で、安倍晋三内閣総理大臣は、近年、世界的に安全保障環境は厳しさを増し、核軍縮をめぐる各国の立場の隔たりが拡大していると指摘し、日本としては、「核兵器のない世界」の実現に向け、核兵器国と非核兵器国の双方の協力を得ながら対話を粘り強く促し、国際社会の取組を主導していくと述べました。また、NPT発効50周年という節目の年となる2020年のNPT運用検討会議において、意義ある成果を生み出すために、広島から始まった核軍縮に関する「賢人会議」の提言等を十分踏まえながら、各国に積極的に働きかけていくと述べました。このほか、被爆者の方々から伝えられた被爆体験を若い世代へと語り継いでいく取組や、広島や長崎を訪れる世界中の人々に被爆の悲惨な実相に触れていただく取組を、着実に推し進めていく考えを示しました。

また、アントニオ・グテーレス国連事務総長のメッセージを中満なかみつ泉いず



み国連事務次長・軍縮担当上級代表が代読しました。事務

総長は、悲しいことに、今日、国際安全保障環境が悪化し、核保有国間の緊張が高まっており、何十年にもわたり世界をより安全にしてきた軍縮や軍備管理制度を疑問視する声が聞こえ始めていると述べ、私たちはいま一度、被爆者の方々が世界中に広めてきた、核兵器の使用を防ぐ唯一の確実な保証は核兵器の完全な廃絶であるという重要なメッセージを思い出さなくてはならないと訴えました。そして今日、およそ14,000発の核兵器がいまだ存在し、その多くがいつ発射されてもおかしくない警戒態勢にあるなか、この危険を低減し、最終的になくしていくため、被爆者やすべての人々とともに、全力を尽くすと述べました。

〔日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先〕

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 本館 5F
TEL: 058-379-0580 FAX: 058-385-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp

また、湯崎知事は、あいさつの中で「核兵器不使用を絶対的に保証するのは、廃絶



以外にありません。」と核兵器廃絶を強く訴えました。

式典には36都道府県の遺族代表の他、核兵器国のアメリカ、イギリス、フランス、ロシアを含む89か国と欧州連合（EU）の大使や代表が参列しました。

核兵器をめぐっては、使用すると威嚇などを禁じた核兵器禁止条約が、非保有の南半球の国々を中心とした122カ国の賛同で2年前に国連で採択された。しかし批准した国は24で、発効に必要な50に満たない。松井市長はこの日、日本政府に署名・批准を促し、「核兵器のない世界の実現に更に一步踏み込んでリーダーシップを発揮して頂きたい」と求めたが、安倍晋三首相はあいさつで今年の菅首相の様な読み飛ばしはなかったものの条約に言及しなかった。長崎でも田上富久長崎市長も同じことを求めたが安倍首相の挨拶は同様でした。唯一の戦争被爆国である日本は是非批准してもらいと思うしそれが一番素直な流れだと思うのですが。

私は本船が広島宇品外貨第五埠頭に着岸後広島市内に飛び出し広島焼を食べた後平和公園の中央を流れる「元安川」で、毎年8月6日の夜に、平和を祈る「灯籠流し」が行われていたのでその荘厳な雰囲気の中で灯籠にも平和を祈ってきました。



そして、翌日早朝広島港を出港しました。

2. 鹿児島にて

本船は8月8日早朝に鹿児島港に入港し、知覧特攻平和会館



〔日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先〕

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 本館 5F
TEL : 058-379-0580 FAX : 058-385-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp



・ 掩体壕 ・ ホタル館 ・ 富屋食堂



を見学した後夜鹿児島

港を出港し、翌朝長崎に入港しました。途中軍艦島沖合を通過し



長崎港に入港しました。

平和公園は長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典終了後訪れることとしていましたので、長崎



市内を観光しました。大浦天主堂、工事中のグラバー園



、昼食は中華料理を食べた



後、フェリー

〔 日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先 〕

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 本館 5F
TEL : 058-379-0580 FAX : 058-385-4316 Email:gcea9901@ybb.ne.jp



で軍艦島クルーズに出かけました。



軍艦

島（端島）には上陸できず、高島に上陸し、石炭資料館を見学しました。長崎港に帰って



きた後、めがね橋

等観光した後、夕方長崎原爆犠牲者慰霊平和祈

念式典終了後の平和公園を訪問し平和記念像にそれこそ平和祈念をしてきました。



この時、江戸時代半ばに創業し、長崎県の特産品べっ甲細工を製造販売してきた長崎市の眼鏡橋近くにある創業311年 江崎べっ甲店が2020年に閉店し文化財の店舗は解体された様です。ワシントン条約で 1993年から、べっ甲細工の原料であるタイマイの国際的商取引が禁止になり、輸入のほか、土産物を海外に持ち出すこともできなくなった。将来、原料が枯渇するのは明らかとなり、職人の後継者は不在、愛好家の高齢化など業界を



取り巻く環境は厳しさを増していたため閉店を結決めたとの事です。

べっ甲、象牙、鯨ひげ等の工芸品は貴重ではありますが、ワシントン条約（Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora（絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約））は、自然のかけがえのない一部をなす野生動植物の一定の種が過度に国際取引に利用されることのないようこれらの種を保護することを目的とした条約ですので、その精神からして野生動植物の種の保存のためには存続が困難となっていくのですね。

〔 日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先 〕

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 本館 5F
TEL：058-379-0580 FAX：058-385-4316 Email:gcea9901@ybb.ne.jp

3. まとめ

10年前の船舶修繕のため訪問した東北各地で東日本大震災の津波被災地を見た時真っ先に思い出したのが広島の平和記念資料館で見た広島原爆投下の跡の状況でした。それ位破壊の状況はすさまじくその復興に時間が掛るだろうと感じました。



岩手県陸前高田、



宮城県仙台市宮城野区沿岸

地震・津波災害では地震を防ぐことはできないが、ハード・ソフトの対策で何とか津波等の災害を最小限にする努力が必要であるが、「核兵器のない世界の実現」は人類の努力で実現できることを確信した貴重な旅を経験しました。しかし現実はなかなかその方向に進んでいないことが極めて残念です。